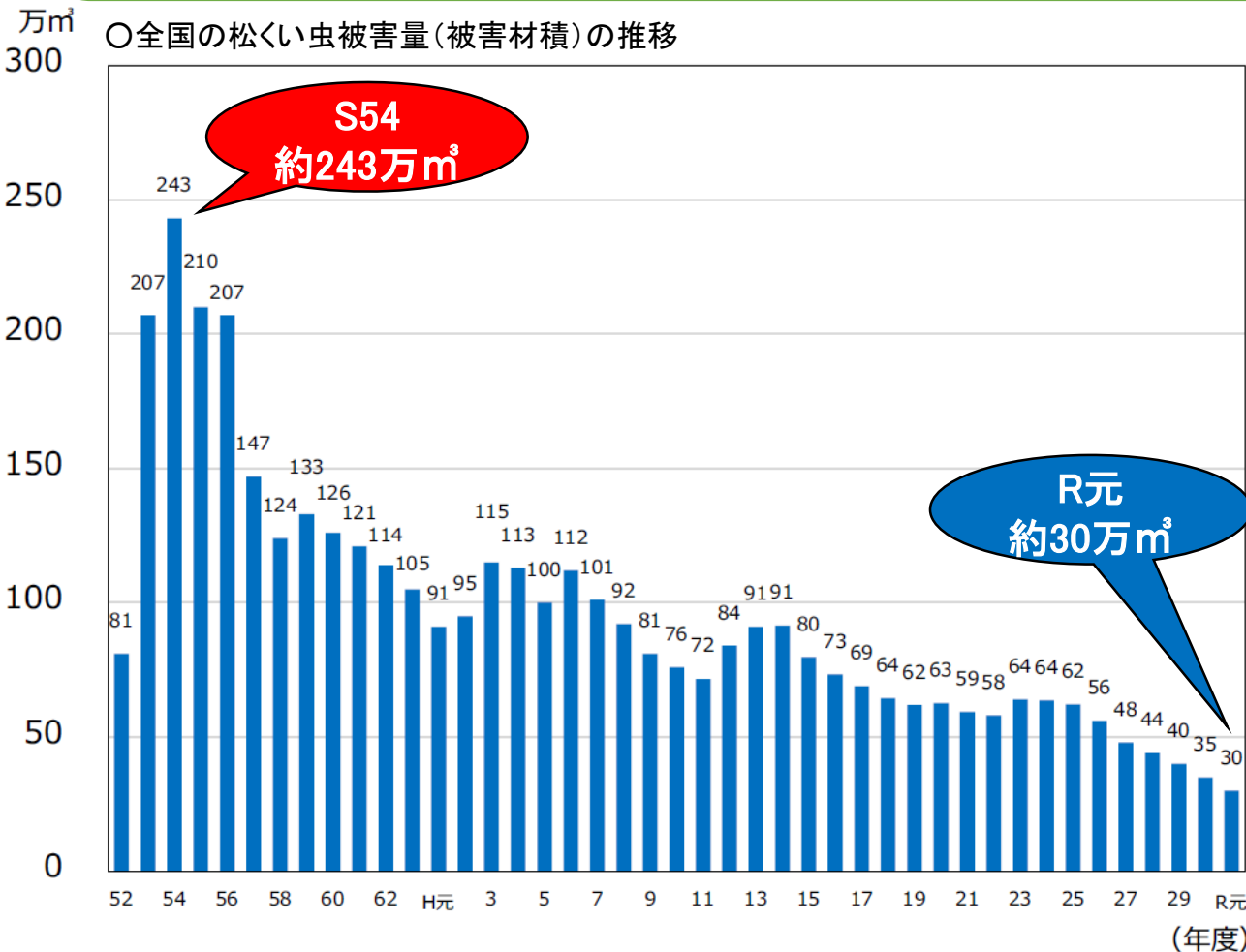


松くい虫被害状況及び 被害対策について

岡山県農林水産部治山課

(1) 松くい虫被害状況（全国）

- 全国の松くい虫被害量は、昭和54年度の約243万³m³をピークに減少傾向。
- 令和元年度の被害量は、約30万³m³（ピークである昭和54年の約1／8）となっているが、依然として我が国最大の森林病虫害である。
- 令和元年度において被害が発生したのは、北海道及び埼玉県を除く45都府県であり、そのうち前年度と比較して13県で被害が増加した。

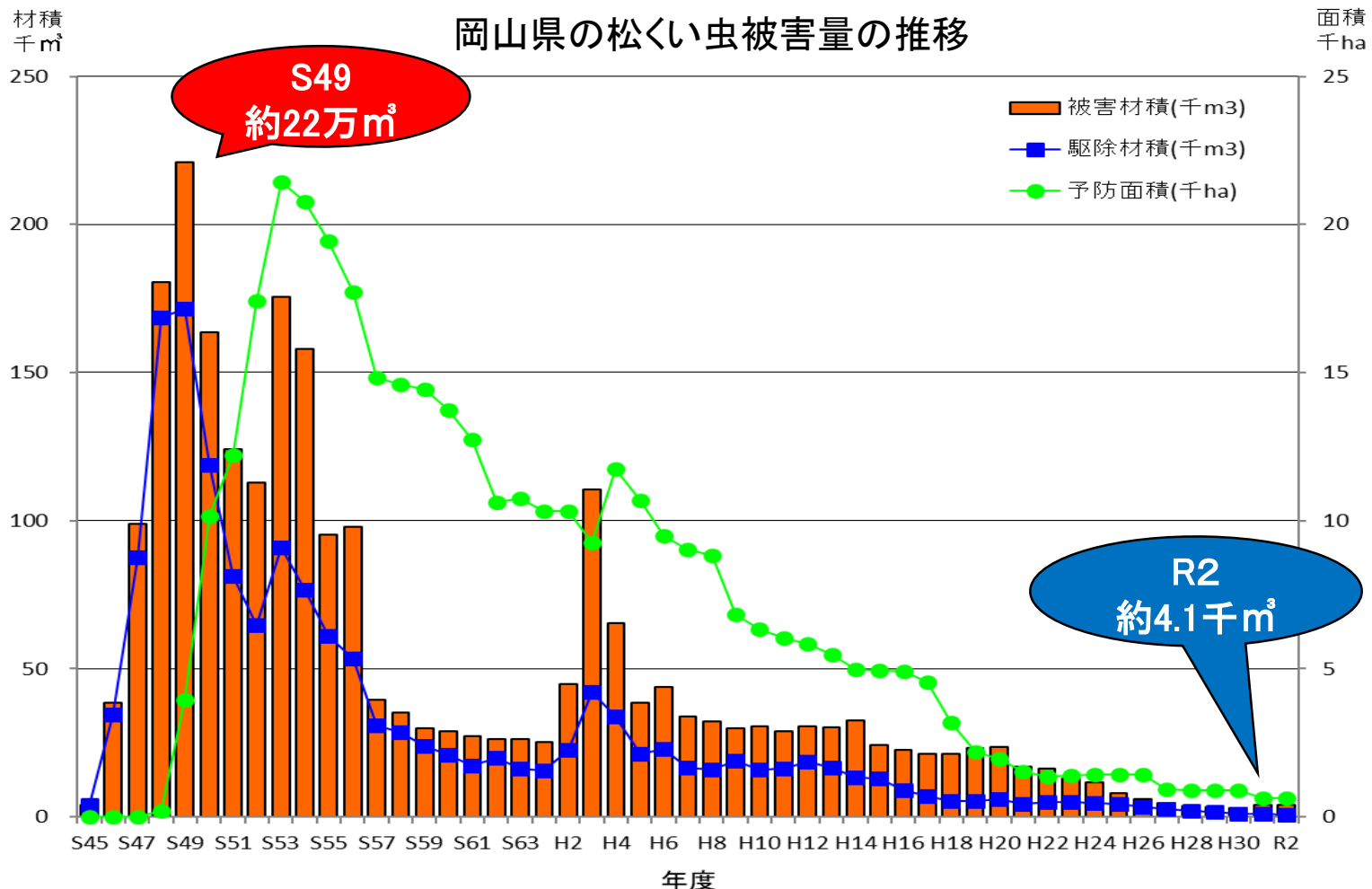


令和元年度被害量の多い県		
1位	長野県	72.0千 ³ m ³
2位	福島県	30.8千 ³ m ³
3位	岩手県	28.1千 ³ m ³
4位	山形県	24.1千 ³ m ³
5位	鹿児島県	18.7千 ³ m ³
・	・	
・	・	
18位	岡山県	4.2千 ³ m ³

※令和3年8月末時点の林野庁公表値

(2) 松くい虫被害状況（岡山県）

- 岡山県の松くい虫被害量は、昭和49年度に約22万 m^3 で過去最高となった。
- 令和元年度の被害量は約4.2千 m^3 まで減少したものの、依然として広範囲にわたって発生している。
- 令和2年度の被害量は、約4.1千 m^3 で、前年度に比べ減少している。



(3) 松くい虫被害対策の取り組み (岡山県)

「保全すべき松林」の取組

予防対策
6~7月

空中散布

地上散布



春

夏

秋

冬

羽化・脱出

後食

産卵

越冬

予防対策
12~3月

駆除対策
10~3月

薬剤散布



くん蒸処理



樹幹注入



(4) 令和3年度の松くい虫防除事業の概要

- 被害の発生を防止するため、保安林等公益性の高い「保全すべき松林」を対象に薬剤の空中散布(2市604ha)及び地上散布(3市41ha)を実施した。
- 被害の拡大を防止するため、保安林等公益性の高い「保全すべき松林」を対象に伐倒駆除(2市40m3)を実施した。(R2実績)

県民局	事業主体	空中散布	地上散布	伐倒駆除 (R2実績)	備 考(薬剤散布箇所、実施日)	
備前局	玉野市		24ha		深山公園(24ha)	5/25
	赤磐市	574ha			円光寺(59ha)、勢力(130ha)、仁堀(93ha)、戸津野(60ha)、暮田(93ha)、石(40ha)、平山(20ha)、八島田(79ha)	5/25~5/26, 5/28
	局 計	574ha	24ha			
備中局	倉敷市		13ha	30m3	鷲羽山(13ha)	5/18,6/15
	総社市			10m3		
	井原市	30ha	4ha		美星町明治(30ha)、中世夢が原(4ha)	5/22 6/10
	局 計	30ha	17ha	40m3		
県 計		604ha	41ha	40m3		